

令和4年度事業報告書

特定非営利活動法人 東上まちづくりフォーラム

1. 事業の成果

はじめに

本年度も前年度同様に新型コロナの感染拡大を受け、当法人の活動のベースである人的交流が制約を受け、当初予定していた活動のほとんどは実施できませんでした。

リモートを活用したPC研修や高齢者のサポート活動・啓蒙活動は新型コロナ流行下にあつては特に有効な手段であり当初はその利用を検討しましたが、受講者のネット環境の不備やリモート会議ソフトへの不慣れなどの理由から実現できませんでした。

そのため次年度以降からの活用を目指し、リモート会議初心者に対しても一定の条件のもとでリモート会議のやり方を指導できる方法を研究し実証実験でも成果を上げることができました。

具体的な活動については従来から手がけている事業のうち、コロナの感染対策をとることのできる事業だけを実施しました。

定款に定める非営利活動法人活動

① 資源の再発見と人材開発の場の提供

会員が職業人として現役時代に培ったスキルや経験を活用し、地域や身近な人の役に立ちたいとする「助っ人隊」プロジェクトにおいては、従来から継続している以下の案件を中心に実施しました。

- ・障害者福祉法人の運営するカフェ&パン販売店「どんなときも」のホームページ制作は、前事業年度から継続して実施しました。
- ・高齢者及び障害者を支援するNPO法人等に対し継続実施しているパソコン入門研修はコロナ感染拡大に伴い依頼がありませんでした。
- ・創業スクール、求職者支援訓練の講師は本年度はありませんでした。

② まちづくり提案とプロジェクト活動

高齢者の暮らしの支援や孤立を防止するための事業として、本年度は以下の活動テーマに取り組みました。

- ・暮らしの相談窓口
「おひとり様の終活問題」に関し、情報収集を行ってきました。なお、セミナーなど対人の活動は行っていません。
- ・成年後見人（市民後見人）活動の普及啓蒙
成年後見人制度は発足しましたが、制度を知らない人が多く、制度を知っていても利用しない人が多数存在します。社会福祉協議会及び市役所の活動に市民後見人として協力する形で普及啓蒙活動に努めました。志木市及び和光市の市役所が開催する市民後見人養成講座では「活動中の市民後見人」として参加しています。また、埼玉司法書士会が主催するオンラインセミナーにゲストスピーカーとして招かれた「活動中の市民後見人」として発言の機会を戴きました。
- ・スマホ動画による「30秒CM」事業
本事業は、市民映像フォーラムから引き継いだ、地域を紹介するビデオの制作発信活動です。川越の店主達や個人が自分の仕事や活動をスマホで撮影し編集し、更にYouTubeに投稿して、社会にアピールする事業です。

今期も「川越まちゼミ」の講座を通じて「スマホで動画編集/YouTubeにアップ」を実

施しました。チラシやクリアファイルにスマホをかざすと印刷された絵が動き始め「まあ！おもしろい！」と印象付けを行います。

次年度は、紙のチラシに紹介動画をリンクしたパンフレットをつくり、“生業が創る生活文化”のコンテンツで、地域店舗と住民をつなぐ試みをします。

・地域人の「百縁処」(川越市内)

「百縁処」は、地域の空き店舗・空き住宅を活用し、地域の人が気軽に集まり利用できる場所を提供します。各種の講座、会合に利用してもらいます。1人1回100円の利用料です。運営人が面談し了解を得た人が利用出来ます。「生業が生み出す文化が町を賑わす」というキャッチで、商業者と市民の文化活動を結ぶ場です。市販のテレビを使ったデジタルサイネージ「まちコミ掲示板」とYouTubeで、「百縁処」やその他の「文化活動」と市内商業者の生業を通じた「文化商品やサービス」をお知らせしています。

「百縁処」の会場は二階に移動し、シニアが「読書会」として活用しています。これからコロナが落ち着いたら利用者を広げます。

③ 住民交流の場づくり

活動の範囲を広げるため、以下の地域団体に参加し連携した活動を模索しました。

・志木市NPO協議会への参加

市内NPO団体との協業をめざしましたが、開催されませんでした。

・志木市コミュニティ協議会への参加

ふれあい推進委員会に所属し“犯罪に強いまちづくり”を目指し、わんわんパトロール隊を組織し隊員の募集活動を実施しました。また、にぎわい創出委員会での親水公園の整備活動にも参加しました。さらに、広報部会長として広報誌“コミュニティしき”を発行しました。広報部会は副部会長2年、部会長は5年目に入りました。志木市民まつりや視察研修旅行は中止となりました。

・志木さくらフェスタ実行委員会への参加

3月26日(土)・27(日)実施、ステージ部会長として企画運営を担当しましたがステージは天候により中止となりました。朝霞台のFMラジオ放送77.5 Lively FM(ナナコライブリーエフエム)に出演し広報に務めました。和光市・朝霞市・新座市・志木市とその周辺に数度にわたり放送されました。

・生活支援体制整備事業への参加

生活支援体制整備で協議した目指す地域像「困りごとを抱えた人が助けてと言える地域」を実現させるため、「志木の夢実現計画(プロジェクト)」の一環として、男性が地域に関わる仕組みづくりおよび居場所づくりを進めるため、社会福祉協議会が市から受託した事業にコアメンバーとして参加しています。

具体的には、町内会連合会・老人クラブ連合会の各単会を含めた活性化計画の策定、市内各所のラジオ体操会の告知・広報活動(社協だより)を実施、市内各所でパソコンサポートのボランティア団体の連携を図りスキルの向上策・ヘルプデスクサービスを企画、障害者スポーツであるボッチャの普及活動を着手、ピンクリボン乳がん検診及びがん哲学外来の啓蒙活動、かつて実施した「上野千鶴子」さんの講演会が契機となり活動を始めた「暮らす会」への企画面でのサポートなどを生活支援体制整備事業の一環として組み入れ活動しています。

・埼玉県南西部地域の自転車活用による地域づくり事業への参加

本事業は今年、実施されませんでした。

なお定款に規定されているその他の事業(地域産品等の販売、中小企業等のコンサルティング、個人を対象とした教育・出版)は、令和4年度に該当する事業はありませんでした。

2. 事業の実施に関する事項（令和4年6月1日～令和5年5月31日）

（1）特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
地域資源の再発見と人材開発の場の提供	「助っ人隊」事業	通年	埼玉県全域	5人	社会福祉法人、NPO法人、地域企業（2法人）	48
まちづくり提案とプロジェクト活動	暮らしの相談窓口	通年	志木市、朝霞市、川越市	5人	対象者120名	
	成年後見人(市民後見人)活動の普及啓蒙	通年	志木市、朝霞市、川越市、和光氏	2人	対象者50名	
	スマホ動画による「30秒CM」事業	通年	川越市	2人	-	
	「百縁処」事業	通年	川越市	2人	-	
	障がい者・高齢者・NPO向けIT支援	通年	埼玉県全域（出張研修可能）	5人	NPO法人、個人	
住民交流の場づくり	他団体との連携	通年	県南西部地域、川越市	3人	約50人	-
上記事項に関する情報提供事業	ホームページ、活動案内チラシ	通年	東上まちづくりフォーラム事務局	2人	約100人	-
その他目的を達成するために必要な事業	必要に応じて実施	通年	東上まちづくりフォーラム事務局	-	-	-

（2）その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施予定場所	従事者の予定人数	支出額（千円）
地域物品等の販売	地域商品の販売	-	-	-	-
中小企業、非営利活動法人の経営支援	コンサル、営業支援	-	-	-	-
個人を対象とした教育、出版	IT関連資格取得講座	-	-	-	-